平成 23 年 8 月 8 日

各　　位

会 社 名　株式会社パイロットコーポレーション
代表者名　代表取締役社長　渡辺　広基
（コード番号　7846　東証・大証　第１部）
問合せ先　常 務 取 締 役　小久保　好雄
（TEL.　03 － 3538 － 3700 ）

平成 23 年 12 月期第２四半期連結累計期間業績予想との差異に関するお知らせ

平成23年２月14日に公表いたしました平成23年12月期第２四半期連結累計期間（平成23年１月１日～平成23年６月30日）の業績予想と、本日公表の実績に差異が生じましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

１．平成23年12月期第２四半期連結累計期間（平成23年１月１日～平成23年６月30日）の業績予想と実績の差異

（単位：百万円、％）

	売 上 高	営業利益	経常利益	四半期純利益	１株当たり四半期純利益
					円 銭
前回発表予想（Ａ）	36,000	2,750	2,500	1,500	6,480.32
今回実績（Ｂ）	35,726	3,259	3,305	2,501	10,874.28
増減額（Ｂ－Ａ）	△273	509	805	1,001	―
増減率（％）	△0.8%	18.5%	32.2%	66.8%	―
（ご参考）前期第２四半期実績（平成22年12月期第２四半期）	35,245	2,891	2,424	1,816	7,848.76

２．差異の理由と今後の見通し

売上高は概ね前回予想通りとなりましたが、利益率の高い自社製品の販売に注力したこと、及び平成19年度から取組んできたグループ生産拠点の再編と開発機能の集約により、生産部門の効率化とコストダウンが着実に進み、売上原価率の低下につながったこと等から、営業利益、経常利益は、前回発表予想を18.5%、32.2%それぞれ上回りました。

また、四半期純利益につきましても、経常利益段階の好転により、前回公表いたしました予想値を66.8%上回りました。

なお、米国の景気回復の遅れや欧州の財政不安等で、世界経済の不確実性が増しつつあることに加え、円高傾向や震災発生以降の消費動向の変化により、国内景気の先行きも予断を許さない状況にあるため、現時点では通期の連結業績予想に変更はございません。

今後、修正の必要が生じた場合には速やかに公表いたします。

（注）上記に記載した予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績については当社及び当社グループをとりまく様々な要因により、記述されている業績予想とは異なる可能性があります。

以　　上